

2023ミニバスケットボール3on3大会 競技規則

- 1 試合形式 予選はリーグ戦方式。予選勝ち上がり後はトーナメント方式とする。
- 2 チームの構成

5～7名(選手は6名まで)
(① 監督又はコーチ ②選手A ③選手B ④選手C ⑤選手D ⑥選手E ⑦選手F)

 ※監督又はコーチは、引率者と異なってもよい。
- 3 交代 ハーフタイムに必ず交代し、登録選手全員が出場すること。
 〈延長〉改めて交代してよい。 ※ベストを組んでもよい。
 〈負傷〉プレーの継続ができない場合は、審判の指示に従って交代する。
 〈退場〉5ファウルアウトの場合は、チームの人数に応じて1名～3名まで交代できる。
 * 但し、ゲームの続行ができなくなった場合は、その時点で失格・敗戦(スコア20-0)となる。
- 4 試合時間

前半 5分間	1分間	後半 5分間	1分間	延長(2点先取)
---------------	-----	---------------	-----	----------

 ※ゲームクロックを止めるのは、ファウルの処置の間だけとする。
但し、準決勝・決勝はヴァイオレーションも止める通常クロックとする。
 ※タイムアウトは取れない。
 ※同点で終了した場合延長戦を行う。1分後に2点先取のVゴール方式とする。
延長の攻守権はジャンケンにて決定。ファウルは後半を継続する。
- 5 試合の開始 予め、前半・後半開始時の攻撃権をじゃんけんで決め、開始ラインより始める。
 ※選手登録終了後、5分間経過しても相手チームの選手登録ができない場合、その時点で失格・敗戦(スコア20-0)とする。
- 6 ファウル P(5ファウル)、T(4ファウル)ともに適用する。
- 7 ショットクロック 高学年は14秒ルールを適用する。
中学年は24秒ルールを適用する。(通常の試合と変わらないルールで行う。)
- 8 3ポイント 高学年、中学年とも適用する。
- 9 攻撃権 攻撃の開始および再開は、常に開始ラインより行われる。
- | | |
|--|-----------|
| ①守備側がファウル
②守備側がボールをアウトにした時 | 攻撃権
継続 |
| ①攻撃側がファウル
②攻撃側がボールをアウトにした時
③攻撃側のヴァイオレーション
④守備側のボール保持を審判が認めた時
⑤ヘルドボールが宣告された時
⑥得点した時
⑦フリースローの後 | 攻撃権
移動 |
- 10 その他 ○練習用ボールの持参は、一切認めない。
○選手のビブスは各チームで用意する。(濃・淡共に)。共用はしない。
 ○選手服装については特に定めませんが、スポーツに適したものとする。
 (金具がついたものは×)
 ○屋内シューズは必ず持参する。
 ○審判の服装は、上半身のみ通常規定。過度にラフにならないよう十分気をつけること。(帽子・時計等の着用は×)
○審判は、今年度より2人体制で行う。
(ショットクロック、3ポイントのルールが適用されるため)
 ○観覧者は原則、アリーナ内に入ることはできない。